

# 坂出市高齢者福祉計画および第7期介護保険事業計画の 平成30年度進捗状況について

---

平成31年1月31日現在

「1. 自立支援・重度化防止の推進」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画 ページ																										
1	(1)介護予防の総合的な推進	介護予防・日常生活支援総合事業の充実	<p>【新規】 ①住民主体の通いの場への専門職支援(医師, 歯科医師, 薬剤師, リハビリ専門職など)</p> <p>【拡充】 ②実情に応じた介護予防・生活支援サービスの推進</p> <p>③一般介護予防事業の推進 ◆転倒予防に重点をおいたはつらつ教室 ◆閉じこもり予防や生きがいをづくりに重点をおいたアンチエイジング教室 ◆認知症予防に重点をおいたミュージック・ヒーリングやコグニサイズ教室</p>	<p>・過去1年間に転んだ経験がある割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般高齢者</td> <td>31.7%</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>要支援・要介護認定者</td> <td>67.0%</td> <td>40.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・転倒に対する不安が大きい割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般高齢者</td> <td>46.8%</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>要支援・要介護認定者</td> <td>91.7%</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	平成29年度	目標(2020年度)	一般高齢者	31.7%	10.0%	要支援・要介護認定者	67.0%	40.0%	対象者	平成29年度	目標(2020年度)	一般高齢者	46.8%	40.0%	要支援・要介護認定者	91.7%	80.0%	<p>①地域ケア会議にて協力可能メニュー表の作成済み。</p> <p>②未実施。</p> <p>③&lt;参加者数(延べ数)&gt; はつらつ教室:148回 5,080人 アンチエイジング教室:10回 207人 ミュージックヒーリング:13回 1,001人 コグニサイズ:21回 1,123人</p>	<p>メニュー表の活用はできていないが,平成29年度から開始したコグニサイズは,昨年と比べると参加人数は増加しており,認知度は高まってきている。その他の教室は,新規参加者数が増えず,参加者は固定化している。</p>	<p>今後,通いの場への具体的な支援方法についての検討が必要。介護予防教室の周知方法や住民のニーズに応じた教室内容の検討などを行っていく。来年度より,加茂・川津・府中・松山の4地区でコグニサイズを開始予定。</p>	かいご課	P55								
対象者	平成29年度	目標(2020年度)																																	
一般高齢者	31.7%	10.0%																																	
要支援・要介護認定者	67.0%	40.0%																																	
対象者	平成29年度	目標(2020年度)																																	
一般高齢者	46.8%	40.0%																																	
要支援・要介護認定者	91.7%	80.0%																																	
2	自立支援・介護予防の普及	<p>【新規】 ①リハビリ専門職によるオリジナル介護予防体操の作成・普及</p> <p>②転倒予防月間の新設</p> <p>【拡充】 ③住民や事業者など地域全体への自立支援,介護予防に関する普及啓発</p> <p>④介護予防サポーターの養成など地域での担い手づくり</p> <p>⑤介護予防サポーターなどの活動の場づくり</p> <p>【継続】 ⑥「さかいで介護の日」等のイベントでの周知</p>	<p>・介護予防サポーター養成講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者</td> <td>60人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>活動者</td> <td>34人</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・介護予防事業の認知度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般高齢者</td> <td>13.2%</td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td>要支援・要介護認定者</td> <td>18.1%</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・介護予防の取り組みについて「大切だと思う」割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般高齢者</td> <td>79.7%</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>要支援・要介護認定者</td> <td>76.5%</td> <td>90.0%</td> </tr> </tbody> </table>		平成29年度	目標(2020年度)	登録者	60人	80人	活動者	34人	50人	対象者	平成29年度	目標(2020年度)	一般高齢者	13.2%	30.0%	要支援・要介護認定者	18.1%	30.0%	対象者	平成29年度	目標(2020年度)	一般高齢者	79.7%	90.0%	要支援・要介護認定者	76.5%	90.0%	<p>①未実施。</p> <p>②未実施。</p> <p>③通いの場や仲間づくりにおいて,保健師等による自立支援・介護予防に関する講話や運動を実施。</p> <p>④川津・林田地区で介護予防サポーター養成講座を実施。 川津:参加者 名,登録者2名 林田:参加者17名,登録者1名</p> <p>⑤介護予防教室等において,教室運営のサポートを実施。</p> <p>⑥「さかいで健幸まつり&amp;介護の日2018」を開催。坂出リハ職連携会の協力を得て,転倒予防をテーマとした計測と計測結果をもとに助言を実施。 参加者数:202名。</p>	<p>新規の取り組みの実施が遅れている。 自立支援・介護予防の意識は高まってきているが,更なる普及啓発が求められる。</p>	<p>未実施であるリハビリ専門職によるオリジナル介護予防体操の作成・普及,転倒予防月間の新設を実施。来年度は,通いの場などで使用可能である介護予防の物品を購入予定であり,それを用いて介護予防の普及啓発を重点的に行う。</p>	かいご課	P56
	平成29年度	目標(2020年度)																																	
登録者	60人	80人																																	
活動者	34人	50人																																	
対象者	平成29年度	目標(2020年度)																																	
一般高齢者	13.2%	30.0%																																	
要支援・要介護認定者	18.1%	30.0%																																	
対象者	平成29年度	目標(2020年度)																																	
一般高齢者	79.7%	90.0%																																	
要支援・要介護認定者	76.5%	90.0%																																	

「1. 自立支援・重度化防止の推進」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画 ページ															
3	(2) 地域包括支援センターの機能強化	困ったときに気軽に相談することができる体制づくり	<p>【新規】</p> <p>①地域包括支援センターの職員が各地区に出向き、高齢者に関するさまざまな相談に応じ、適切な支援につなげる「出前包括」の新設</p> <p>②ダブルケア(介護と育児を同時に担う)に関する支援</p> <p>【拡充】</p> <p>③高齢化の進展に伴う相談、支援等の増加に対応するため、専門職の人員補強による地域包括支援センターの体制強化</p> <p>④地域包括支援センター運営協議会での議論を踏まえた事業内容・運営状況に関する情報公開</p> <p>【継続】</p> <p>⑤高齢者等の介護、福祉、保健、医療等に関する相談窓口としての総合相談支援事業および専門職によるチーム支援の実施</p>	<p>・地域の相談窓口として地域包括支援センターを活用している割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般高齢者</td> <td>9.4%</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>要支援・要介護認定者</td> <td>13.7%</td> <td>20.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「出前包括(仮称)」(新規事業)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規事業</td> <td>-</td> <td>12回</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	平成29年度	目標(2020年度)	一般高齢者	9.4%	15.0%	要支援・要介護認定者	13.7%	20.0%		平成29年度	目標(2020年度)	新規事業	-	12回	<p>①未実施。</p> <p>②参加組数:54組 介護サービス利用に関する情報等の相談対応を実施。</p> <p>③理学療法士(嘱託員)を雇用し、介護予防事業やリハ職との連携強化を図った。</p> <p>④ホームページで掲載予定。</p> <p>⑤総合相談件数 計2,155件 (権利擁護に関する相談、包括的継続的ケアマネジメント含む)</p>	未実施の取り組みはあるが、ダブルケアでの相談対応や専門職の人員補強、総合相談を継続的に行い、相談できる体制づくりに向けて進行している。	地域包括支援センターの業務内容を周知啓発することで、相談を行いやすい環境を構築していく。	かいご課	P57
対象者	平成29年度	目標(2020年度)																						
一般高齢者	9.4%	15.0%																						
要支援・要介護認定者	13.7%	20.0%																						
	平成29年度	目標(2020年度)																						
新規事業	-	12回																						
4	(3) 地域ケア会議と適切なケアマネジメントの推進	地域ケア会議における多職種連携による取り組みの充実	<p>【拡充】</p> <p>①自立支援に向けた多職種連携による新規ケアプランの検討(地域ケア個別会議)</p> <p>【継続】</p> <p>②地域ニーズを把握し政策形成につなげるための地域ケア会議の開催</p>	<p>・新規ケアプラン検討のための地域ケア個別会議</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催数</td> <td>月1回</td> <td>月2回</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地域ケア会議</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催数</td> <td>年5回</td> <td>年6回</td> </tr> </tbody> </table>		平成29年度	目標(2020年度)	開催数	月1回	月2回		平成29年度	目標(2020年度)	開催数	年5回	年6回	<p>①&lt;4月～9月&gt; 個別ケア会議 月1回×2事例 &lt;10月～&gt; 新規ケアプランチェック事業 毎週1回</p> <p>②9, 11, 1月開催(3回)</p>	10月から新規ケアプランチェック事業を開始し、新規認定のケアプランの点検を実施することで、自立支援および適正化が図れた。地域ケア会議も多職種で定期的開催し、取り組みの充実に向けて進行している。	新規ケアプランチェックは継続して実施する。地域ケア会議においては、平成32年度までの3年間で「看取り」について協議検討していくこととしている。	かいご課	P58			
	平成29年度	目標(2020年度)																						
開催数	月1回	月2回																						
	平成29年度	目標(2020年度)																						
開催数	年5回	年6回																						
5		包括的・継続的なケアマネジメント事業の推進	<p>【拡充】</p> <p>①居宅介護支援事業者連絡会において、認定者への自立支援および重度化防止に資するための研修の充実</p> <p>②居宅介護支援事業者連絡会において、医療機関等や地域の各種団体との意見交換会の開催</p> <p>【継続】</p> <p>③困難事例の検討のためのケース会議の開催</p>		<p>①ケアマネジメントの向上にむむけて(アセスメント)の研修会を実施。</p> <p>② ・市立病院認定看護師による研修会の実施。 ・市内医療機関のMSW(医療ソーシャルワーカー)との意見交換会の実施。 (退院時の連携)</p> <p>③毎月1回開催。</p>	年4回開催の介護支援事業者連絡会における研修内容については、主任ケアマネ会にて協議・決定し、連絡会の運営についても各事業者が担当することでケアマネジメントの資質向上に努めている。	困難事例のケース会議への事例提供については年間予定表により実施していたが、それに加えて、臨時での検討要請もあることから、対応できる体制を図る必要がある。	かいご課	P58															

「1. 自立支援・重度化防止の推進」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画 ページ																											
6	(4) 生涯現役の推進	健康づくりの推進	<p>【継続】</p> <p>①循環器疾患や糖尿病の予防のための生活習慣病改善についての普及啓発</p> <p>②特定健康診査の受診勧奨</p> <p>③家庭訪問, 健康相談, 健康教育などきめ細やかな保健指導の実施</p> <p>④適切な食事, 適度な運動, 禁煙などの生活習慣の改善の促進</p>	<p>・特定健康診査・保健指導の実施率(第2次坂出市健康増進計画)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>計画作成時</th> <th>目標(2024年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健康診査</td> <td>34.5%</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導</td> <td>12.7%</td> <td>60.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・メタボリックシンドロームの該当者および予備軍の割合(第2次坂出市健康増進計画)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>計画作成時</th> <th>目標(2024年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>53.4%</td> <td>28.7%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>18.6%</td> <td>10.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・健康状態が「とてもよい」「まあよい」の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般高齢者</td> <td>79.8%</td> <td>85.0%</td> </tr> <tr> <td>要支援・要介護認定者</td> <td>46.5%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	計画作成時	目標(2024年度)	特定健康診査	34.5%	80.0%	特定保健指導	12.7%	60.0%	項目	計画作成時	目標(2024年度)	男性	53.4%	28.7%	女性	18.6%	10.6%	対象者	平成29年度	目標(2020年度)	一般高齢者	79.8%	85.0%	要支援・要介護認定者	46.5%	50.0%	<p>①特定健康診査後に, 結果の見方や生活習慣病(高血圧・糖尿病・高脂血症)予防について, 医師による講演を実施。 実績:4回 延べ参加者数 64名</p> <p>②年2回封書にて受診勧奨を行った。</p> <p>③特定健診後の要指導者通知を実施。未把握者へ家庭訪問や電話にて保健指導を行うとともに, 地域からの依頼にて健康教育を実施。</p> <p>④地区組織活動および地域からの依頼にて健康教育を実施</p>	<p>・医師の健康教育の参加数が伸び悩んでいる。 ・特定健診後のフォロー対象者へアプローチができた。 ・保健事業のあらゆる機会に, 生活習慣病の改善について健康教育を実施している。</p>	<p>・生活習慣病予防のため, 医師の話と健康運動指導士の教室を計画。 ・保健指導実施対象者の行動変容および健診結果の把握をする。</p>	<p>けんこう課 かいご課</p>	P59
項目	計画作成時	目標(2024年度)																																		
特定健康診査	34.5%	80.0%																																		
特定保健指導	12.7%	60.0%																																		
項目	計画作成時	目標(2024年度)																																		
男性	53.4%	28.7%																																		
女性	18.6%	10.6%																																		
対象者	平成29年度	目標(2020年度)																																		
一般高齢者	79.8%	85.0%																																		
要支援・要介護認定者	46.5%	50.0%																																		
7		生涯学習やスポーツ活動を通じての生きがいづくりの推進	<p>【拡充】</p> <p>①ラジオ体操普及活動</p> <p>【継続】</p> <p>②生涯学習フェスタにおける各種団体の参加者増</p> <p>③生涯スポーツの普及</p> <p>④体力測定の実施</p> <p>⑤高齢者の生きがいづくりのための各種講演会(老人大学等)</p>	<p>・趣味ありの割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般高齢者</td> <td>71.1%</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>要支援・要介護認定者</td> <td>32.6%</td> <td>40.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・生きがいありの割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般高齢者</td> <td>63.3%</td> <td>70.0%</td> </tr> <tr> <td>要支援・要介護認定者</td> <td>27.3%</td> <td>35.0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	平成29年度	目標(2020年度)	一般高齢者	71.1%	80.0%	要支援・要介護認定者	32.6%	40.0%	対象者	平成29年度	目標(2020年度)	一般高齢者	63.3%	70.0%	要支援・要介護認定者	27.3%	35.0%	<p>①ラジオ体操大会(金山小学校 200名参加)ラジオ体操広場およびミニ広場の開設(金山集会所, 高屋沖公民館)ラジオ体操週間の実施 上記事業のほか, ラジオ体操をする市民に対しスタンプカードの配布や, 音源CDの貸し出しを行った。</p> <p>②11月に中央公民館で作品展および体験教室, 勤労福祉センターでのステージ発表, 体験教室を開催した。</p> <p>③1月にふるさと坂出スポレク大会, 6月にはゲートボール大会を実施した。また, カローリング大会やウォーキング大会なども定期的に開催した。</p> <p>④6月にオアシス元町で体力測定, 11月に瀬戸大橋記念公園でファミリー健康体力測定を実施した。</p> <p>⑤各地区の老人クラブでは, 毎月老人大学を自主事業として開催し, 様々な講演会などを行い, 高齢者の生きがいづくりに取り組んでいる。</p>	<p>事業の継続により, ラジオ体操が市民の間に定着してきている。 障害学習フェスタについて, H30年度は4,066人(昨年度より974人増)が参加し, ペタンク, グラウンドゴルフ等については, 各市協会が年に数回大会を開催するなど活発な活動が行われている。また, インドアではアジャタやカローリングの普及が進んでいる。 体力測定について, 6月は60名, 11月は100名の参加があり, 参加人数は横ばい状態である。 各種講演会については, 介護予防, 交通安全, 健康づくりなどの講義を行っている。</p>	<p>①市内全域にラジオ体操の拠点となるラジオ体操広場の増設を順次計画する。 ②展示, ステージ発表, 体験教室を通じて, 生涯学習の推進を図っていく。 ③引き続き, 生涯スポーツの紹介や, 大会を開催するなど生涯スポーツに親しむことができる環境づくりに取り組む。 ④体力測定の有効性の周知など広報等の強化により参加者の増加に努める。 ⑤継続していく。</p>	<p>生涯学習課 ふくし課</p>	P60									
対象者	平成29年度	目標(2020年度)																																		
一般高齢者	71.1%	80.0%																																		
要支援・要介護認定者	32.6%	40.0%																																		
対象者	平成29年度	目標(2020年度)																																		
一般高齢者	63.3%	70.0%																																		
要支援・要介護認定者	27.3%	35.0%																																		

「1. 自立支援・重度化防止の推進」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画 ページ																		
8	(4)生涯現役の推進	高齢者の多様な活動の推進	<p>【新規】 ①通いの場への多職種による協力支援メニュー表の提供</p> <p>【拡充】 ②住民主体の通いの場設置のための支援</p> <p>【継続】 ③シルバー人材センターの活動の充実および会員増に向けての広報活動</p>	<p>・多職種による協力支援メニュー活用数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成29年度</td> <td>目標(2020年度)</td> </tr> <tr> <td>活用数</td> <td>-</td> <td>20回</td> </tr> </table> <p>・住民主体の通いの版設置数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成29年度</td> <td>目標(2020年度)</td> </tr> <tr> <td>設置数</td> <td>14か所</td> <td>26か所 (12か所を新設)</td> </tr> </table> <p>・住民主体の通いの場への高齢者の参加率</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成29年度</td> <td>目標(2020年度)</td> </tr> <tr> <td>参加率</td> <td>1.3%</td> <td>10.0%</td> </tr> </table>		平成29年度	目標(2020年度)	活用数	-	20回		平成29年度	目標(2020年度)	設置数	14か所	26か所 (12か所を新設)		平成29年度	目標(2020年度)	参加率	1.3%	10.0%	<p>①メニュー表は作成しているが、通いの場への提供はできていない。</p> <p>②未定。</p> <p>③平成30年度より、市の単独助成額を増額したほか、平成22年度から、本市独自の上乗せ助成を行っている。 普及啓発として、普及啓発推進委員2名により普及啓発を行った。 12月末 会員369人、実人員214人</p>	<p>シルバー人材センターの会員数は増加しているものの、通いの場への協力支援メニュー表の提供や住民主体の通いの場の設置は進んでいない。</p>	<p>シルバー人材センターの会員については、定年延長や雇用の延長により、60歳代前半の男性会員の獲得が難しくなっている。 地域の仲間づくり活動等への協力支援メニュー表の提供を検討する。</p>	<p>かいご課 ふくし課</p>	P60
	平成29年度	目標(2020年度)																									
活用数	-	20回																									
	平成29年度	目標(2020年度)																									
設置数	14か所	26か所 (12か所を新設)																									
	平成29年度	目標(2020年度)																									
参加率	1.3%	10.0%																									

「2. 高齢者の生活を支える体制の充実」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画 ページ									
1	(1)地域住民による自主活動の充実	地域住民同士の交流の推進	<p>【拡充】</p> <p>①老人クラブ等の活動の多様化</p> <p>②老人クラブ等への参加促進</p> <p>【継続】</p> <p>③坂出市社会福祉協議会が推進している仲間づくり活動との連携・支援</p> <p>④小・中学生による福祉施設への訪問や運動会等における高齢者との交流活動等の開催</p> <p>⑤小学生等によるひとり暮らし高齢者宅への配食サービス、手紙の配達</p> <p>⑥民生委員・児童委員や関係機関団体との連携</p>		<p>①②老人クラブに対し、平成29年度から、30人未満の小規模クラブにも独自の助成を行うとともに、活動内容の多様化、若い世代の関心をひくような活動の導入を働きかけている。 109クラブ、6,613人(H30.4時点)</p> <p>③市社会福祉協議会と連携し、各地区社会福祉協議会内の仲間づくり活動を助成して、組織化を支援している。</p> <p>④福祉施設への訪問では、車いす磨きや合唱・合奏を披露した。運動会等での高齢者の交流では、高齢者のかたと児童と一緒にできる競技を行ったり、ベタンク大会で交流を深めた。</p> <p>⑤敬老会への参加や社会福祉協議会と連携し、おはぎをひとり暮らし高齢者宅へ配達した。</p> <p>⑥市社会福祉協議会とともに、民生委員や地区社会福祉協議会の活動を助成し、連携して地域福祉活動を推進している。</p>	<p>・老人クラブ等の活動の多様化、参加促進に向けて働きかけはでき、仲間づくり活動との連携支援もできている。 ・小・中学生による取り組みは、地域との交流を深め、地域を愛する心をはぐくむものとして高く評価できる。 ・民生委員・児童委員や関係機関団体と連携している。</p>	<p>老人クラブ等の活動については、各地区連合会長、地区単位クラブによる会員加入の呼びかけを続けていく。また、県老連が主催する「新地域支援事業」に参画するための研修会に参加を予定。</p> <p>各小中学校で地域との交流が深められる事業を継続して実施していく。</p>	ふくし課 学校教育課	P63									
2		地域住民がお互いに助け合い、支え合う体制づくり(地域共生社会の実現)	<p>【新規】</p> <p>①「我が事・丸ごと」の包括的な支援体制の整備</p> <p>【拡充】</p> <p>②見守り活動、ボランティア活動を実施している各団体のネットワーク化を通じた連携体制の構築、活動ノウハウの共有</p> <p>③坂出市社会福祉協議会ふれあいサービスとの連携、協力会員登録のための支援を通じた担い手の確保、潜在的担い手の発掘</p> <p>【継続】</p> <p>④地区社協やNPO法人による配食サービス、声かけ・見守り活動、いきいきサロン、居場所づくり等の活動への支援</p> <p>⑤民生委員・児童委員による援護を必要とする住民への見守りや声かけと相談支援活動の推進</p>	<p>ボランティアへの参加割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般高齢者</td> <td>15.3%</td> <td>17.0%</td> </tr> <tr> <td>要支援・要介護認定者</td> <td>2.1%</td> <td>5.0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	平成29年度	目標(2020年度)	一般高齢者	15.3%	17.0%	要支援・要介護認定者	2.1%	5.0%	<p>①各課と連携</p> <p>②見守り活動を通じ、民生委員、各種団体、民間企業等と連携を図った。</p> <p>③市社会福祉協議会に対する助成により、ふれあいサービス等の活動を支援している。H30.1月～12月 延活動回数 1,957回 利用会員 85人中76人利用 協力会員 40人中29人利用</p> <p>④各地区社会福祉協議会が月1～2回程度実施している見守り活動としての配食サービス等を、市社会福祉協議会とともに支援している。</p> <p>⑤民生委員の協力により毎年実施している高齢者実態調査の結果等を活用し、援護を必要とする住民への見守りや声かけと相談支援活動を推進している。高齢者のみの世帯8,493人</p>	<p>ふれあいサービス活動は、平成28年、平成29年と比較すると、延活動回数は減少しているが、これは定期利用(週5、6回利用)の会員が減ったため、利用会員、活動会員とも変動はない。 配食サービス等の支援は継続して行った。</p>	<p>高齢者の実態調査は、個人情報保護の意識からか調査拒否の者が増加傾向にある。継続して支援を行う。</p>	ふくし課 かいご課	P63
対象者	平成29年度	目標(2020年度)																
一般高齢者	15.3%	17.0%																
要支援・要介護認定者	2.1%	5.0%																

「2. 高齢者の生活を支える体制の充実」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画 ページ																		
3	(2)在宅生活支援の充実	生活支援体制の基盤整備	<p>【拡充】</p> <p>①第1層協議体「坂出 ささえまるネットワーク」との連携による各地区への第2層協議体設置の推進</p> <p>②第2層協議体生活支援コーディネーターの配置</p> <p>③協議体コーディネーターとの連携による既存の活動の継続・拡充と有償ボランティア等、地域の実情に応じた住民主体の活動創出に向けた支援</p>	<p>・地域づくりへの参加意向(参加者)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般高齢者</td> <td>60.1%</td> <td>65.0%</td> </tr> <tr> <td>要支援・要介護認定者</td> <td>25.9%</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地域づくりへの参加意向(企画・運営)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般高齢者</td> <td>34.5%</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>要支援・要介護認定者</td> <td>10.2%</td> <td>15.0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	平成29年度	目標(2020年度)	一般高齢者	60.1%	65.0%	要支援・要介護認定者	25.9%	30.0%	対象者	平成29年度	目標(2020年度)	一般高齢者	34.5%	40.0%	要支援・要介護認定者	10.2%	15.0%	<p>①②③市内全地区の地縁組織代表者等を対象とした「これからの地域支援を考えるフォーラム2018」を11月6日に開催。</p> <p>また各地区に職員が出向き、事業説明や協議体設置検討を働きかけしている。平成30年度38回実施(H31.2.28現在)</p>	<p>フォーラムには101人参加。各地区ごとにどのような連携が可能かの検討を行っており、市内6ヶ所に第2層協議体設置(H31.2.28現在)され、生活支援体制の基盤整備は進行している。</p>	<p>各組織役員段階での生活支援充実の必要性の周知啓発を継続しているが、今後はより住民に近いレベルでの周知啓発が必要。</p> <p>第2層協議体設置済みの地区において、コーディネーターの配置検討を行っている。</p>	かいご課	P64
対象者	平成29年度	目標(2020年度)																									
一般高齢者	60.1%	65.0%																									
要支援・要介護認定者	25.9%	30.0%																									
対象者	平成29年度	目標(2020年度)																									
一般高齢者	34.5%	40.0%																									
要支援・要介護認定者	10.2%	15.0%																									
4		家族介護への支援	<p>【継続】</p> <p>①介護支援サービスの充実</p> <p>◆在宅寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業</p> <p>◆介護慰労金支給事業</p>		<p>①紙おむつの総支給件数は1,296件であり、1月あたりの平均支給件数は約130件である。</p> <p>また、介護慰労金の総支給額は6,005,000円であり、実利用人数は119名である。</p>	<p>紙おむつの1月あたりの平均支給件数は減少傾向にある。</p> <p>また、介護慰労金の実利用人数は、2月と3月の利用人数の増加を見込んだとしても、減少傾向にある。</p>	<p>介護保険サービスを使っていないかたに対して、普及・啓発が十分にできていない。新規に介護認定を受けたかたに対して、家族介護支援事業のパンフレットを結果通知に同封する等のかた法で、当該事業の認知度を高める。</p>	かいご課	P65																		
5		在宅介護の支援	<p>【拡充】</p> <p>①介護支援サービスの充実</p> <p>◆寝具乾燥消毒サービス事業</p> <p>◆老人入浴サービス給付</p> <p>②きんとキット(救急医療情報キット)、携帯カード、119番登録制度の普及啓発および消防本部との連携</p>		<p>①</p> <p>◆寝具乾燥消毒サービス事業 寝具乾燥消毒サービスの利用延人数は60名である。</p> <p>◆老人入浴サービス給付 家庭に入浴設備がない高齢者で、デイサービスなども利用していないかたに対し、公衆浴場の入浴券(年間48枚)を交付している。 利用人数 48人 配布枚数2,192枚</p> <p>②民生委員や障がい者通所施設などの協力により、75歳以上の在宅高齢者や障がい者などに、救急医療情報キット(きんとキット)を配布している。H30年度1月末時点266個配布 119番登録についても、ふくし課窓口でもパンフレットを来庁者に配布し登録の推進をしている。 119番登録について現在までの登録者数は2,441名。上記期間中は、45名の登録があった。</p>	<p>・寝具乾燥消毒サービスの実利用人数は、2月と3月の利用人数の増加を見込んだとしても、減少傾向にある。</p> <p>・入浴施設のない居宅に在住している高齢者の身体の衛生管理に役立っている。</p> <p>・きんとキットは、必要なかたに随時配布できている。</p> <p>・119番登録は、自治会や民生委員の協力によりある一定数の登録があり、より迅速で正確な救急活動により市民サービスの向上が図られているものと考え。</p>	<p>・寝具乾燥消毒サービスの申請者の中には、1年のうち1度も利用しないかたが多数みられ、その要因として、利用方法の周知不足が考えられる。該当する利用者のケアマネジャーや民生委員から定期的に連絡し、利用を促す声かけを行ってもらうよう依頼する。</p> <p>・入浴サービスを提供できる浴場が、市内で1ヶ所のみとなっている。</p> <p>・119番登録者の死去、住居異動の場合、廃止や変更届の提出が少なく情報管理の維持が課題であり、各課と連携して情報整理にあたる必要がある。</p>	ふくし課 消防本部 かいご課	P65																		

「2. 高齢者の生活を支える体制の充実」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画ページ
6	(2)在宅生活支援の充実	ひとり暮らし高齢者への生活支援	【拡充】 ①見守り協定事業の実施(郵便局, JA, 新聞販売店等) ②介護支援サービスの充実 ◆老人福祉電話貸与事業 ◆要援護老人給食サービス事業 ③高齢者見守り支援事業(坂出ほっとふれんず)による訪問活動を通じたニーズ把握および必要なサービスにつながるための支援 ④老人クラブによるひとり暮らし高齢者世帯・寝たきり高齢者宅への訪問		①市と民生委員, 事業者が協定を結び, 協力して高齢者等の見守り活動を実施している。 H30.4月～H31.1通報7件 ② ◆老人福祉電話貸与事業 近くに親族がいないひとり暮らし高齢者(非課税世帯)に, 簡易型の緊急通報装置(電話がない場合は基本料金を含む)を助成している。 利用人数 13人(H31.1月時点) ◆要援護老人給食サービス事業 川津・松山の2地区の福祉施設とボランティアの協力を得て, 近隣住民による見守りを兼ねて, 週2回昼食用弁当を配食している。 利用人数 36人(H31.1月時点) ③支援員(ほっとふれんず)2名体制5グループによる訪問活動(1/月程度) ・見守り対象者 261人 ・延べ訪問件数 1,063人(H30.4～H31.1) ④老人クラブによる友愛訪問活動に対する助成により, ひとり暮らし高齢者世帯・寝たきり高齢者宅への訪問活動を推進している。	・見守り協定事業の協力事業者が増えた。(香川ヤクルト販売・生活協同組合コープかがわ) ・要援護老人給食サービス事業は, 川津・松山の2地区は配食を必要なかたに実施できている。 ・高齢者の寂しさを薄らげたり, 見守りにもなっている。	・要援護老人給食サービス事業は, その他の地区では, 配食ボランティアが確保できないことから, 実施地区の拡大が困難な状況である。 ・見守りの拡充。	ふくし課 かいご課	P66
7	(3)高齢者の虐待防止と権利擁護	高齢者の虐待防止	【継続】 ①高齢者虐待防止マニュアルの活用 ②警察, 病院, サービス事業所等関係機関との連携 ③老人福祉法に規定するやむを得ない事由による措置制度の活用		①マニュアルの考え方を基本とし, 相談業務を行っている。 ②常に連携をとり, 相談への対応や情報収集を行っている。 ③措置件数 0件	常に関係機関との連携を行い, 相談業務を行っている。	今後も虐待対応において, 「やむを得ない事由による措置制度」の活用での対応も含めて, 早急に高齢者の保護につながるよう対応していく。	かいご課	P67



「2. 高齢者の生活を支える体制の充実」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画 ページ												
8	(3) 高齢者の虐待防止と権利擁護	高齢者の権利擁護	【継続】 ① 成年後見制度利用支援事業を通じた成年後見制度の利用促進 ② 権利擁護人材育成事業を通じた市民後見人等の担い手の確保 ③ 坂出市権利擁護委員会での対応事例についての検討 ④ 坂出市成年後見センターとの連携 ⑤ 坂出市社会福祉協議会日常生活自立支援事業との連携		① 成年後見制度市長申し立ておよび報酬助成を実施。 後見6件 補助1件 報酬助成3件 ② 坂出市社会福祉協議会に委託し、市民後見人フォローアップ講座を実施。 ③ 平成31年3月に検討会実施予定。 ④ 日常的に連絡・連携を行っている。 ⑤ 日常生活自立支援事業利用者の成年後見制度への移行も含めた相談対応を行っている。	補助類型での市長申立を初めて行った。 市民後見人フォローアップ講座は毎年実施できている。	今後も判断能力が低下しきる前の成年後見制度の早期利用、についても普及・啓発を行っていく。	かいご課	P67												
9	(4) 住み慣れた地域で安心して生活するための環境づくり	高齢者に適切な住まい環境の整備	【拡充】 ① 軽費老人ホーム(20室)の整備 ② 軽費老人ホーム,有料老人ホーム,サービス付き高齢者住宅,養護老人ホームの状況把握と情報提供 ③ 坂出市民間住宅耐震対策支援事業の推進	・軽費老人ホームの整備 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>210人</td> <td>230人</td> </tr> </tbody> </table> ・民間住宅耐震対策支援事業による耐震改修(坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>-</td> <td>15件 (2019年度)</td> </tr> </tbody> </table>		平成29年度	目標(2020年度)	定員	210人	230人		平成29年度	目標(2020年度)	件数	-	15件 (2019年度)	① 整備予定法人にて準備中 ② 養護老人ホームへの入所相談を受け、情報提供や入所調整を実施するとともに、介護を要するかたからの相談は、関係部署等へつないでいる。 措置人数 79人(H31.1月時点) ③ 耐震改修:10件 耐震診断:14件	・養護老人ホームへの入所相談を受け、情報提供や入所調整を実施するとともに、介護を要するかたからの相談は、関係部署等へつないでいる。 ・平成30年度における耐震改修工事の件数は10件であり、目標件数には達しておらず、今後、広報活動等について工夫が必要である。	・養護老人ホーム等の状況把握と情報提供は継続して行っていく。 ・耐震改修工事については費用面の問題もあり、耐震診断を実施しても耐震改修工事の実施に繋がりにくい傾向があるため、耐震診断の実施者に対し、効果的な広報活動等の取り組みが必要である。	ふくし課 建設課	P68
			平成29年度	目標(2020年度)																	
定員	210人	230人																			
	平成29年度	目標(2020年度)																			
件数	-	15件 (2019年度)																			
高齢者や障がい者など地域住民が生活しやすい都市整備	【継続】 ① 適切な歩道幅員や段差解消、勾配の軽減等バリアフリーを考慮した街路整備 ② 高齢者や子どもの利用に配慮した公園などの整備 ③ デマンド型乗合タクシー、循環バスの利用促進	・デマンド型乗合タクシー利用者数(坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画作成時</th> <th>目標(2019年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>3,702人</td> <td>3,900人</td> </tr> </tbody> </table> ・循環バス利用者数(坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画作成時</th> <th>目標(2019年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>50,059人</td> <td>52,700人</td> </tr> </tbody> </table>		計画作成時	目標(2019年度)	利用者数	3,702人	3,900人		計画作成時	目標(2019年度)	利用者数	50,059人	52,700人	① 室町谷内線の街路整備。 ② 公園設備の維持管理を行っている。 ③ デマンド型乗合タクシー 公共交通空白地域を解消し、地域住民の交通手段として、重要な役割を果たしており、適切に実施されている。 ・循環バス 市街地における利便性の高い移動手段として、重要な役割を担っており、適切に実施されている。 デマンド型乗合タクシー利用者数 3,135人 巡回バス利用者数	・デマンド型乗合タクシーは、地域住民の移動手段として、加茂・神谷等地区および府中・西庄地区は、242日/244日、川津地区は216日/244日の利用があり、公共交通空白地域を解消して、重要な役割を果たしている。 ・循環バスは、安定した利用があり、高齢者だけではなく、朝夕の学生の利用も目立つようになった。市内幼稚園・保育所での乗り方教室の実施等、モビリティマネジメントも毎年実施しており、市街地における利便性の高い移動手段として重要な役割を担っている。	・デマンド型乗合タクシーは、今後も、地域住民の声を聞くなど、利用者ニーズを把握し、PR等更なる利便性の向上に取り組み利用促進を図る。 ・循環バスは、今後も、利用者増に向けてPR等を行い、利用促進を図る。	都市整備課	P69		
	計画作成時	目標(2019年度)																			
利用者数	3,702人	3,900人																			
	計画作成時	目標(2019年度)																			
利用者数	50,059人	52,700人																			

「2. 高齢者の生活を支える体制の充実」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画 ページ						
10	(4)住み慣れた地域 で安心して生活する ための環境づくり	交通安全の推進および高 齢者の事故防止対策の強 化	【継続】 ①高齢者運転免許証自主返納 支援事業  ②高齢者の参加による交通安全 キャンペーンの実施  ③老人大学,自治会での高齢者 交通安全教室の開催	・高齢者交通安全教室の開催 <table border="1" data-bbox="1142 420 1528 504"> <tr> <td></td> <td>平成29年度</td> <td>目標(2020年度)</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>年間12回</td> <td>年間15回</td> </tr> </table>		平成29年度	目標(2020年度)	回数	年間12回	年間15回	①高齢者運転免許証自主返納支 援事業申請者数 158人  ②今年度は5回の交通安全キャン ペーンを実施し, 毎回多くの高齢者 が参加している。  ③今年度は15回, 老人大学, 自治 会での高齢者交通安全教室を開催 し, 836名の高齢者が参加。	平成30年中の県下の交通 死亡事故による犠牲者は44 人となっており, このうちの28 人, 63.6%が高齢者であつた が, 坂出市の状況を見ると県 平均を上回る, 犠牲者4人全 員が, 高齢者という状況となつ た。 そのため, 高齢者を対象とし た交通安全教室等に重点を 置いており, 昨年度より開催 数を増やし多くの高齢者に, 交通安全について学んでも らっている。 この他, 坂出自動車学校が 主催し, 本市を含め, 坂出警 察署, 坂出市老人クラブ連合 会の協力のもと, 教習コース を利用し, 高齢者交通安全教 室を実施している。 また, 毎年, 香川県が実施 する交通安全高齢者自転車 大会に坂出市老人クラブ連合 会が参加しており, 交通安全 キャンペーンへの参加も含 め, 高齢者の交通安全意識 の醸成にもつながっているも のと考えている。	今後も継続して実施してい く。	都市整備課 共働課	P69
	平成29年度	目標(2020年度)													
回数	年間12回	年間15回													

「2. 高齢者の生活を支える体制の充実」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画 ページ												
11		災害および救急救命時を想定した支援体制の整備	<p>【拡充】</p> <p>①福祉避難所(二次避難所)の整備</p> <p>【継続】</p> <p>②公共施設の耐震化工事</p> <p>③自主防災組織の結成および活動の促進</p> <p>④避難行動要支援者避難支援計画の普及活動</p> <p>⑤災害時の避難体制(避難行動要支援者避難支援計画〔個別計画〕)の整備</p> <p>⑥119番登録制度の普及促進</p> <p>⑦老人大学での救急実技指導および防火講演</p> <p>⑧住宅用火災報知機の普及活動</p>	<p>・福祉避難所(二次避難所)数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>19施設</td> <td>20施設</td> </tr> </tbody> </table> <p>・自主防災組織カバー率 (坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カバー率</td> <td>-</td> <td>100% (2019年)</td> </tr> </tbody> </table>		平成29年度	目標(2020年度)	施設数	19施設	20施設		平成29年度	目標(2020年度)	カバー率	-	100% (2019年)	<p>①2法人, 1団体と協定を結んでいる。 福祉避難所 19施設</p> <p>②計画に基づき, 順次実施している。</p> <p>③自主防災組織カバー率 100%</p> <p>④防災講演や訓練などを通して普及を図った。</p> <p>⑤順次実施している。</p> <p>⑥平成13年開始から現在までの登録者数は2,441名。今年度は, 45名の登録があった。 ふくし課窓口では, パンフレットを来庁者に配布し登録の推進をしている。</p> <p>⑦6か所(各校区)において防火・防災の講話を実施。延約200名が参加。 救急講話については, 4回実施し, 聴講者は延べ約200名が参加</p> <p>⑧ショッピングセンター等で定期的にパンフレット等を配布し普及啓発活動を実施している。また, 広報誌等に啓發文書を掲載している。 市営住宅において, 5団地94戸で住宅用火災報知機324個の交換を実施。</p>	<p>・福祉避難所については, 関係課, 関係機関と具体的な内容について, 協議ができていない。 ・消防法の改正(H18.6.1)により住宅用火災報知機の設置が義務づけされたことに伴い, 市営住宅についてはH19年度～H22年度にかけ設置しているが, 電子部品の劣化, 電池の寿命等により約10年を目安に交換することとされているため, H29年度より順次, 交換を行なっている。 概ね計画通り交換が実施されている。 ・防災・救急講習会等での普及啓発活動が実施され, また, 民生員や自治会の協力を得ている。 ・高齢者に対して災害等の備えについての普及・啓発が行えている。 ・若干ではあるが設置率の向上が見られる。</p>	<p>福祉避難所については, 関係課, 関係機関と具体的な内容について, 協議をする必要がある。 ・住宅用火災報知機の設置については, 概ね計画どおり交換が実施されているが, 入居者の都合により交換できなかった住戸もあることから, 入居者の協力が得られるよう周知方法等を工夫し交換に努める。 ・申請者の登録事項に変更があったとき, 変更届が提出されない場合がある。今後, いかにか情報を収集していくのか課題である。 ・老人大学での講話の継続。 ・普及啓発活動の継続。</p>	<p>危機監理室 消防本部 建設課 ふくし課</p>	P70
	平成29年度	目標(2020年度)																			
施設数	19施設	20施設																			
	平成29年度	目標(2020年度)																			
カバー率	-	100% (2019年)																			

「2. 高齢者の生活を支える体制の充実」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画 ページ
12	(5)在宅医療・介護連携の推進	在宅医療の普及啓発の推進	<p>【新規】</p> <p>①市民を対象に終末期や看取りに関する講演会の開催</p> <p>【拡充】</p> <p>②在宅医療サービス、介護サービスについて普及啓発</p> <p>③坂出市医師会在宅医療介護連携支援センターの周知</p>		<p>①未実施。</p> <p>②坂出市医師会在宅介護連携支援センターが開設したホームページにて在宅医療関係機関や介護サービス事業所等を掲載し、連携強化および普及啓発に取り組んでいる。</p> <p>③多職種研修会や介護の日等でパンフレットを配布し、周知。</p>	坂出市医師会在宅医療介護連携支援センターの運営を通じ、医師会・歯科医師会・薬剤師会および介護事業所と連携し、普及啓発に取り組んでいる。	坂出医師会在宅医療介護連携支援センターの周知拡大。在宅医療サービス・介護サービスに関する情報の普及啓発の強化。	かいご課	P71
13		多職種連携の推進	<p>【拡充】</p> <p>①多職種に向けて在宅医療サービス、介護サービスの周知</p> <p>②多職種研修会やグループワークの開催</p>		<p>①レコルデ在宅等の研修会を活用し、サービス等における情報交換を行っている。</p> <p>②多職種研修会として「ACPIに関する講演会およびグループワーク」の開催。 レコルデ在宅(在宅医療・介護連携)の実施。 介護事業所向けに認知症ケア向上講座の実施。</p>	多職種研修会やレコルデ在宅を活用した多職種の顔の見える関係づくりを推進することができている。	研修会等の周知を強化し、顔の見える関係作りを働きかけることによって、多職種連携の推進を図る。	かいご課	P72
14		切れ目のない在宅医療と介護の仕組みづくり	<p>【新規】</p> <p>①住民の在宅医療や介護に関する意識・ニーズ調査</p> <p>【拡充】</p> <p>②情報共有を目的として使用される情報共有シートや地域連携のためのクリティカルパスなどの作成、整備</p> <p>③在宅医療と介護の切れ目のないサービス提供体制の推進</p> <p>④坂出リハ職連携会との連携強化</p> <p>⑤坂出市医師会在宅医療介護連携支援センターの相談支援を通じた課題の検討</p>		<p>①介護の日の開催に併せて参加者からアンケートを実施</p> <p>②市独自のものは未作成</p> <p>③在宅医療介護連携支援センターの相談員による相談支援を実施</p> <p>④レコルデ在宅や多職種研修会への参加を促すことで顔のみある関係づくりの強化を図っている。</p> <p>⑤レコルデ在宅を開催し、事例を通じた課題の把握を行った。</p>	坂出市医師会との連携のもと、在宅医療介護連携支援センターを中心に多職種研修会やレコルデ在宅の開催を通じて、在宅医療と介護の切れ目のない支援に向けて取り組んでいる。	人生の最終段階における意思決定(ACP)について、市民への周知啓発が課題である。そのため、民生委員等の各種会合など機会を捉えての説明会の開催や市民向けの講演会を検討する。	かいご課	P72

「3. 認知症高齢者支援策の充実」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画 ページ																								
1	(1) 認知症対策の充実	すべてのかたが認知症を正しく理解し、支援できる体制づくり	<p>【新規】</p> <p>①認知症サポーターの活動への支援</p> <p>【拡充】</p> <p>②認知症サポーター養成講座(小売業、金融機関、公共交通機関に積極的に開催)</p> <p>③認知症サポーター養成講座の終了者へのフォローアップ研修の開催</p> <p>④認知症ケアパスの普及</p>	<p>・認知症サポーター活動場所数</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>平成29年度</th><th>目標(2020年度)</th></tr> <tr><td>場所数</td><td>-</td><td>10か所</td></tr> </table> <p>・認知症サポーター登録者数</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>平成29年度</th><th>目標(2020年度)</th></tr> <tr><td>登録者数</td><td>3,075人</td><td>6,000人</td></tr> </table> <p>・認知症サポーターフォローアップ研修受講者数</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>平成29年度</th><th>目標(2020年度)</th></tr> <tr><td>受講者数</td><td>年間26人</td><td>年間40人</td></tr> </table>		平成29年度	目標(2020年度)	場所数	-	10か所		平成29年度	目標(2020年度)	登録者数	3,075人	6,000人		平成29年度	目標(2020年度)	受講者数	年間26人	年間40人	<p>①未実施。</p> <p>②認知症サポーター養成講座は7回開催。参加者数:372名</p> <p>③介護予防サポーターと同時開催にて、研修会を実施。参加者数:33名。</p> <p>④もの忘れ・けんしんのフィードバック時や、介護の日など機会を捉えて配布。</p>	<p>認知症サポーターの活動場所がなく、活用できていない。認知症サポーター養成講座の開催数は減少しているが、認知症サポーター数は増加している。またフォローアップ研修の受講者数も増加。</p>	<p>認知症サポーターが、認知症カフェなどにおいて活動できる場を検討する。小売業・金融機関・公共交通機関等に対して、認知症サポーター養成講座の依頼を積極的に実施していく。</p>	かいご課	P73						
	平成29年度	目標(2020年度)																															
場所数	-	10か所																															
	平成29年度	目標(2020年度)																															
登録者数	3,075人	6,000人																															
	平成29年度	目標(2020年度)																															
受講者数	年間26人	年間40人																															
2		認知症予防につながる取り組みの充実	<p>【拡充】</p> <p>①認知症の防御因子とされる「運動、食事、余暇活動、社会的参加、認知訓練、活発な精神活動等」の周知や他事業との連携</p> <p>②生活習慣病予防の担当部署との連携</p>		<p>①認知症サポーター養成講座や講師派遣時に認知症予防について周知。</p> <p>②未実施。</p>	<p>認知症予防についての普及啓発をすすめると共に、認知症予防の取り組みの強化するため、けんこう課と連携する必要がある。</p>	<p>けんこう課のKDB【国保データベース】システムを活用した、もの忘れ・けんしん対象者への効果的な訪問を検討。</p>	かいご課	P74																								
3		家族介護者への支援の充実	<p>【新規】</p> <p>①身近な場所を利用し、工作や手芸などワークショップの開催</p> <p>【拡充】</p> <p>②認知症カフェ「さかいでオレンジかふえ」の普及</p> <p>③坂出市まいまいこ(はいかい)高齢者おかえり支援事業</p> <p>④認知症の身近な地域の相談窓口の周知、拡充</p>	<p>・認知症カフェ参加者数</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>平成29年度</th><th>目標(2020年度)</th></tr> <tr><td>参加者数</td><td>628人</td><td>800人</td></tr> </table> <p>・おかえり支援サポーター数</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>平成29年度</th><th>目標(2020年度)</th></tr> <tr><td>サポーター数</td><td>258人</td><td>400人</td></tr> </table> <p>・おかえり支援事業者数</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>平成29年度</th><th>目標(2020年度)</th></tr> <tr><td>事業者数</td><td>58事業者</td><td>70事業者</td></tr> </table> <p>・在宅介護実態調査結果</p> <table border="1"> <tr><th>結果</th><th>平成29年度</th><th>目標(2020年度)</th></tr> <tr><td>認知症自立度・今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安を感じる介護の認知症状への対応の割合</td><td>自立+I 10.2% II 44.2% III以上 66.7%</td><td>自立+I 5.0% II 30.0% III以上 45.0%</td></tr> </table>		平成29年度	目標(2020年度)	参加者数	628人	800人		平成29年度	目標(2020年度)	サポーター数	258人	400人		平成29年度	目標(2020年度)	事業者数	58事業者	70事業者	結果	平成29年度	目標(2020年度)	認知症自立度・今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安を感じる介護の認知症状への対応の割合	自立+I 10.2% II 44.2% III以上 66.7%	自立+I 5.0% II 30.0% III以上 45.0%	<p>①介護の日においてワークショップを開催。</p> <p>②さかいでオレンジかふえ 9ヶ所(新規2ヶ所)参加者数:582名(平均9人/回)PRの場として介護の日にコーナーを設ける。地図を作成し、介護の日において配布。</p> <p>③現在のおかえり支援サポーター数は269人、おかえり支援事業者数は59事業所。</p> <p>④ケアパスを利用して、窓口対応時、老人大学や認知症サポーター養成講座などで専門医療期間などの相談窓口の周知を行っている。</p>	<p>ワークショップの開催場所において、身近な場所を活用していく。今年度認知症カフェが2件増加したことにより、相談窓口が拡充された。参加者数は伸び悩んでいるため、幅広く周知をしていく必要がある。</p>	<p>公民館や認知症カフェ等の身近な場所でのワークショップの開催を検討。認知症カフェの地図付き年間予定表等を作成し、幅広い周知を検討。認知症カフェや認知症サポーター養成講座等で、坂出市まいまいこ(はいかい)高齢者おかえり支援事業や相談窓口の周知。</p>	かいご課	P74
	平成29年度	目標(2020年度)																															
参加者数	628人	800人																															
	平成29年度	目標(2020年度)																															
サポーター数	258人	400人																															
	平成29年度	目標(2020年度)																															
事業者数	58事業者	70事業者																															
結果	平成29年度	目標(2020年度)																															
認知症自立度・今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安を感じる介護の認知症状への対応の割合	自立+I 10.2% II 44.2% III以上 66.7%	自立+I 5.0% II 30.0% III以上 45.0%																															

「3. 認知症高齢者支援策の充実」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画 ページ
4		早期診断・早期対応の体制強化	<p>【新規】</p> <p>①歯科医療機関や薬局などと連携し、早期発見の体制づくり</p> <p>【拡充】</p> <p>②「もの忘れ・けんしん」による早期対応と予防の周知</p> <p>③認知症初期集中支援チームと認知症地域支援推進員との連携</p> <p>④かかりつけ医、専門医療機関、認知症疾患医療センターとの連携</p>		<p>①未実施。</p> <p>②対象者数:974名 回答者数:695名(71.4%) 訪問対象者数(スクリーニング・MCI):61名</p> <p>③認知症初期集中支援チーム員と認知症地域推進員を兼ねている。</p> <p>④様々な医療機関からの相談を受け、担当ケアマネジャーやソーシャルワーカーなどと連携しながら本人の対応を行っている。</p>	<p>もの忘れ・けんしんによる認知症の早期対応・予防の周知を、必要に応じて訪問をしながら、対応できている。主治医やソーシャルワーカーと情報共有し、医療と介護の両面から本人の支援を実施している。相互に相談し連携を取ることができている。</p>	<p>けんこう課のKDB(国保データベース)を活用した、より効果的なもの忘れ・けんしんの訪問を検討。歯科医や薬剤師など、それぞれの専門性を活かし、幅広い視点を持って本人の生活を包括的に支援していく体制づくりが必要。</p>	かいご課	P75

「4. 介護支援の推進」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画ページ												
1	(4) 介護サービス基盤整備	認知症や介護が必要になっても住み慣れた地域で生活を継続できる体制の構築を図る	<b>【新規】</b> ①認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の整備 ②介護老人保健施設の整備	坂出市地域密着型サービス等整備助成補助事業 ・認知症対応型共同生活介護 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成29年度</td> <td>目標(2020年度)</td> </tr> <tr> <td>整備数</td> <td>107床</td> <td>125床</td> </tr> </table> ・介護老人保健施設 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成29年度</td> <td>目標(2020年度)</td> </tr> <tr> <td>整備数</td> <td>340床</td> <td>360床</td> </tr> </table>		平成29年度	目標(2020年度)	整備数	107床	125床		平成29年度	目標(2020年度)	整備数	340床	360床	介護サービス事業者公募説明会 平成30年7月2日開催 介護サービス事業者応募受付 平成30年7月17日～8月16日 事前協議事業者審査委員会 第1回 平成30年9月25日開催 第2回 平成30年10月24日開催 地域密着型サービス運営等委員会 平成30年10月29日開催 市長報告 平成30年11月7日 事前協議事業者の選定結果の告示および事業者への結果通知 平成30年11月8日  ①C圏域 グループホーム (1か所/18床) 社会福祉法人 松寿会  ②D圏域 介護老人保健施設増床 (1か所/20床) 社会福祉法人 敬世会	公募指定を活用。事業者説明会を開始し、事業者選定を行った。	2020年4月開設に向け支援していく。	かいご課	P89
	平成29年度	目標(2020年度)																			
整備数	107床	125床																			
	平成29年度	目標(2020年度)																			
整備数	340床	360床																			
2	(5) 持続可能な介護保険制度の運営	介護保険に関する情報提供・啓発	<b>【拡充】</b> ①老人大学等での介護保険制度の説明, 出前講座の開催  <b>【継続】</b> ②広報紙, ホームページ等を通じた高齢者に配慮した情報の提供  ③制度改正に対応したパンフレットの作成, 医療機関への配付		①西庄城北大学 平成30年5月17日 迦田自治会敬老会 平成30年9月24日 坂出六葉大学 平成30年10月12日 府中西福寺老人クラブ同志会 平成30年12月10日  ②制度改正に伴いホームページの変更  ③制度改正に伴い介護保険のパンフレット作成し, 希望があった看護学校や病院等への配布。	老人大学等での介護保険の説明回数は少ないが, 介護保険のパンフレットを配布し, 分かりやすい説明をうよう心掛けた。また, ホームページについては, 全体的に内容を確認し修正を行った。	介護保険制度は難しく理解しにくいとの声があるため, 丁寧に理解しやすい説明ができ, 気軽に相談ができるようにする。ホームページ等へは最新の情報を掲載する。	かいご課	P90												

「4. 介護支援の推進」実施状況等(平成30年度)

No.	分類	目標	第7期における具体的な取り組み	評価指標 (A)	平成30年4月～平成31年1月末までの実施状況 (B)	評価 (C)	課題と対応策 (D)	備考 (E)	事業計画ページ						
3	(5) 持続可能な介護保険制度の運営	効果的・効率的な介護給付の推進	<p>【拡充】</p> <p>① 介護給付適正化計画に沿って計画的に実施し、検証・評価・見直しを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 要介護認定の適正化</li> <li>◆ ケアプランの点検</li> <li>◆ 住宅改修・福祉用具の点検</li> <li>◆ 医療情報との突合・縦覧点検</li> <li>◆ 介護給付費通知の送付</li> </ul> <p>② 介護相談員派遣事業の実施</p> <p>③ 第三者行為求償の取り組み拡大</p> <p>【継続】</p> <p>④ 介護相談員、認定調査員の各種研修等への参加</p> <p>⑤ 離島等サービス確保対策事業の推進</p> <p>⑥ 実地指導等を通じたサービス事業所への指導</p> <p>⑦ 事業者連絡会や地域ケア個別会議を通じた介護支援専門員への助言</p>	<p>・介護相談員派遣事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>目標(2020年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談員数</td> <td>6名</td> <td>12名 (各施設月1回訪問)</td> </tr> </tbody> </table>		平成29年度	目標(2020年度)	相談員数	6名	12名 (各施設月1回訪問)	<p>① 坂出市第4期介護給付適正化計画(平成30年度～平成32年度)を平成30年3月に作成し、毎年実施目標を立て検証を行っており、平成30年11月に上半期の実績について検証を行った。</p> <p>② H30.10月より2名増員し8名体制で事業を実施。月平均34ヶ所を訪問。</p> <p>③ 要介護認定申請時や認定調査時等の聞き取りにより発見。第三者行為の届出を行ってもらっている。損害賠償事務は国保連に委託 平成30年度委託件数 5件</p> <p>④ 介護相談員現任研修 平成30年6月 2名参加 認定調査員能力向上研修 平成31年1月 1名参加 認定調査員現任研修 平成30年9月 全員参加</p> <p>⑤ 未実施</p> <p>⑥ 地域密着型サービス事業所 グループホーム 5か所実施 居宅介護事業所 3か所実施</p> <p>⑦ 小規模多機能型居宅介護事業所とグループホームの連絡会は各事業所が開催し、密着型サービス担当職員が出席。個別ケース会議は、月に1回開催しその他、相談等には随時対応。</p>	<p>・適正化事業については、今年度より主任ケアマネによる新規ケアプラン点検を開始し、適正化が図れているが、医療情報との突合・縦覧点検の「確認不可」についての検証ができていない。</p> <p>・介護相談員派遣事業は、介護相談員の増員により、1カ月の訪問件数が平均10ヶ所増加。</p> <p>・離島等のサービスについての推進は十分に行えていない。</p> <p>・地域密着型サービス事業所やケアマネジャーからの相談への対応は随時行い、効果的な介護サービス提供の推進を進行している。</p>	<p>・PDCAサイクルの実施継続。適正化の5事業のうち、十分にできていない事業について、確認体制を見直し、確実に実施できるようにする。</p> <p>・介護相談員については、1カ月の訪問件数は増加したものの、約5ヶ所程度は、目標である月1回の訪問頻度に達していない。今後も介護相談員数の増員を検討していく。</p> <p>・適正化事業や実地指導等を行う職員の体制が十分でない。</p>	かいご課	P90
			平成29年度	目標(2020年度)											
相談員数	6名	12名 (各施設月1回訪問)													
介護人材の確保および資質の向上	<p>【継続】</p> <p>① 県の実施する人材育成研修等の教育機会活用の支援</p>		<p>① 県の実施する人材育成研修等の教育機会活用の支援はできていないが、市として介護支援専門員や介護サービス事業所の職員を対象に資質向上のための支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員連絡協議会(年4回実施)</li> <li>・主任介護支援専門員連絡会(毎月…連絡会の企画)</li> <li>・主任介護支援専門員が個別ケース会議等に助言者として参加</li> </ul>	<p>介護支援専門員への機会の提供は行えているが、必要な介護人材の確保するための具体的な取り組みは行えていない。</p> <p>今年度中に、介護サービス事業所の職員を対象に認知症ケア向上研修を実施する予定である。</p>	<p>県が実施する人材育成事業を把握し、周知する。介護の仕事の理解の促進が必要。</p>	かいご課	P91								



介護サービス給付費, 介護予防サービス給付費の実績

(単位: 千円)

区分 (介護給付費)	平成29年度	平成30年度			
	実績値	計画値 A	実績値 (※1)	見込 B(※1×12/10)	対計画比 B/A
■ 居宅サービス	1,810,430	1,889,794	1,521,080	1,825,296	96.59%
訪問介護	188,304	201,088	155,083	186,100	92.55%
訪問入浴介護	26,920	28,416	20,639	24,767	87.16%
訪問看護	37,160	43,974	30,746	36,895	83.90%
訪問リハビリテーション	16,981	19,508	11,640	13,968	71.60%
居宅療養管理指導	26,628	27,529	24,650	29,580	107.45%
通所介護	405,031	430,593	349,359	419,231	97.36%
通所リハビリテーション	451,300	471,416	372,072	446,486	94.71%
短期入所生活介護	259,803	255,218	225,260	270,312	105.91%
短期入所療養介護	13,390	16,076	18,080	21,696	134.96%
福祉用具貸与	100,205	99,946	86,864	104,237	104.29%
特定福祉用具購入費	4,045	5,097	2,543	3,052	59.87%
住宅改修費	5,805	7,666	5,103	6,124	79.88%
特定施設入居者生活介護	274,858	283,267	219,041	262,849	92.79%
■ 地域密着型サービス	717,601	827,903	651,800	782,160	94.47%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	10,826	9,014	9,975	11,970	132.79%
夜間対応型訪問介護	0	693	0	0	0.00%
認知症対応型通所介護	29,080	32,411	19,559	23,471	72.42%
小規模多機能型居宅介護	144,970	127,755	113,155	135,786	106.29%
認知症対応型共同生活介護	299,552	330,864	265,580	318,696	96.32%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	128,553	179,065	144,715	173,658	96.98%
看護小規模多機能型居宅介護	52,179	90,206	55,296	66,355	73.56%
地域密着型通所介護	52,441	57,895	43,520	52,224	90.20%
■ 施設サービス	1,702,980	1,794,332	1,403,776	1,684,531	93.88%
介護老人福祉施設	742,384	784,934	614,429	737,315	93.93%
介護老人保健施設	934,274	975,128	771,120	925,344	94.89%
介護医療院	0	0	8,670	10,404	皆増
介護療養型医療施設	26,322	34,270	9,557	11,468	33.46%
■ 居宅介護支援	170,503	173,916	145,062	174,074	100.09%
介護給付費計	4,401,514	4,685,945	3,721,718	4,466,062	95.31%

(単位: 千円)

区分 (介護予防給付費)	平成29年度	平成30年度			
	実績値	計画値 A	実績値 (※1)	見込 B(※1×12/10)	対計画比 B/A
■ 介護予防サービス	333,635	240,252	190,132	228,158	95.0%
介護予防訪問入浴介護	1,019	1,262	725	870	68.94%
介護予防訪問看護	4,976	4,720	4,776	5,731	121.42%
介護予防訪問介護(※2)	43,219	0	63	76	皆増
介護予防訪問リハビリテーション	12,908	14,359	11,351	13,621	94.86%
介護予防居宅療養管理指導	3,661	4,215	2,894	3,473	82.39%
介護予防通所介護(※2)	65,557	0	145	174	皆増
介護予防通所リハビリテーション	111,946	116,461	100,893	121,072	103.96%
介護予防短期入所生活介護	10,232	11,148	7,925	9,510	85.31%
介護予防短期入所療養介護	1,631	1,818	1,082	1,298	71.42%
介護予防福祉用具貸与	36,763	39,021	32,998	39,598	101.48%
特定介護予防福祉用具購入費	2,867	4,033	2,301	2,761	68.47%
介護予防住宅改修費	11,798	13,352	8,545	10,254	76.80%
介護予防特定施設入居者生活介護	27,058	29,863	16,434	19,721	66.04%
■ 地域密着型介護予防サービス	17,561	14,627	15,658	18,790	128.46%
介護予防認知症対応型通所介護	1,627	1,389	2,021	2,425	174.60%
介護予防小規模多機能型居宅介護	13,520	9,058	12,433	14,920	164.71%
介護予防認知症対応型共同生活介護	2,414	4,180	1,204	1,445	34.56%
■ 介護予防支援	46,876	51,044	33,736	40,483	79.31%
介護予防給付費計	398,072	305,923	239,526	287,431	93.96%

介護予防・日常生活支援総合事業費の実績

(単位: 千円)

区分 (介護予防・日常生活支援総合事業費)	平成29年度	平成30年度			
	実績値	計画値 A	実績値 (※1)	見込 B(※1×12/10)	対計画比 B/A
■ 介護予防・日常生活支援総合事業費	98,815	227,389	189,560	227,472	100.04%
訪問型サービス	36,547	84,134	71,810	86,172	102.42%
通所型サービス	62,268	143,255	117,750	141,300	98.64%
介護予防・日常生活支援総合事業費計	98,815	227,389	189,560	227,472	100.04%

(※1) 平成30年4月審査分から1月審査分までの実績

(※2) 平成29年度から順次、地域支援事業「介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行

(見込) 実績値を基に算定

【計画P76~88, 92~94】